

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2017」
入賞者とビデオファンが集う「TVF2017 フォーラム」を開催

～2月11日(土)・12日(日)／武蔵大学 江古田キャンパス (一般開放・入場無料)～

- 今回の入賞作品を題材に、会場全体で映像制作について語り合う2日間！
- 「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」を初日に開催

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事：小林はくどう)が主催する、今年で39回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2017」(TVF2017)は、来る2017年2月11日(土)・12日(日)の2日間、入賞者とビデオファンが集う一大イベント、「TVF2017 フォーラム」(会場：武蔵大学 江古田キャンパス (東京都練馬区)／一般開放・入場無料／共催：武蔵大学社会学部メディア社会学科松本ゼミ)を開催します。

「TVF2017 フォーラム」では、「TVF2017 アワード」に選ばれた40作品を題材として取り上げながら、入賞者とともに来場者も交えて、会場全体で映像制作について語り合います。メインは「人を見つめる」「地域・歴史・文化・自然を伝える」(ともに初日に開催)、「闘う映像 現在、現代を考える」(2日目に開催)と、3テーマを設定したディスカッション。各テーマの題材に該当する入賞作品(3-4頁参照)を元に、審査委員がナビゲーターとなり、入賞作品のダイジェスト映像を鑑賞後、入賞作品や映像制作について討論します。どなたでも自由に参加できるオープンイベントです。

また、フォーラム初日には、入賞40作品の中から、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」を実施。さらに同日、特別賞の「筑紫哲也賞」「サポーター賞」の発表・表彰も行います。

■ 「TVF2017 フォーラム」の概要 (予定)

[日時] 2017年2月11日(土) フォーラム、入賞・特別賞の表彰、公開審査会、交流会
12日(日) フォーラム

[会場] 武蔵大学 江古田キャンパス (住所：東京都練馬区豊玉上1-26-1)
*交通アクセス：西武池袋線「江古田駅」より徒歩6分、「桜台駅」より徒歩8分
都営大江戸線「新江古田駅」より徒歩7分
東京メトロ副都心線・東京メトロ有楽町線「新桜台駅」より徒歩5分

[参加費] 無料 ※交流会は有料です。

*詳細は後述、および「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (URL <http://tvf2010.org/>) をご参照ください。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくるTVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。

「TVF2017 フォーラム」のプログラム詳細（予定）

注) セッション1～3の題材となる作品は、「TVF2017 アワード」入賞作品から、各テーマに応じて取り上げます。
題材作品の詳細は、3～4 ページをご参照ください。

■2月11日(土)・「TVF2017 フォーラム」第1日目

(会場：武蔵大学 江古田キャンパス 6号館・6201 教室)

9：15	◎開場（受付開始）
9：45	◎開会 開会宣言～主催者挨拶～ プログラム説明
10：00～11：30	◎ セッション1(ディスカッション)：テーマ「人を見つめる」 ①「TVF アワード」入賞作品（11 作品：詳細 3 頁）のダイジェスト上映 ②映像作家（入賞者）・コメンテーター・ナビゲーターによる討論 ③「TVF アワード」入賞作品（同）の表彰
11：30～12：30	休憩（昼食）
12：30～15：15	◎セッション2(ディスカッション)：テーマ「地域・歴史・文化・自然を伝える」 ①「TVF アワード」入賞作品（20 作品：詳細 4 頁）のダイジェスト上映 ②映像作家（入賞者）・コメンテーター・ナビゲーターによる討論 ③「TVF アワード」入賞作品（同）の表彰
15：15～15：30	休憩
15：30～17：30	◎公開審査会 ・今回の象徴作品「ビデオ大賞」（1 作品）を審査委員の公開審査で決定 （司会：下村健一 市民メディア・アドバイザー／当法人理事） ・「ビデオ大賞」作品上映&表彰
17：30～17：45	◎特別賞の発表・表彰 ・特別賞の「筑紫哲也賞」「サポーター賞」（各 1 作品）の発表&表彰。
17：45～18：00	◎記念撮影～閉会

18：30～20：00	◎交流会 (会場：武蔵大学 江古田キャンパス 8号館・50周年記念ホール) ・TVF 審査委員や入賞者、来場者ら“映像仲間”で楽しく会食・歓談して、交流を深めます。 ・有料制（参加費：一般 3,000 円・学生 1,000 円）
-------------	--

<各賞の選出について>

- ・「ビデオ大賞」：「TVF2017 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出（1 作品）。
- ・「TVF2017 アワード」：「入賞」に位置づけられる作品。今回は全応募作品から 40 作品を選出。
- ・「筑紫哲也賞」：特別賞（1 作品）。「TVF2017 アワード」受賞作品の中から、ジャーナリスト故 筑紫哲也氏のご遺族により選出されます。
- ・「サポーター賞」：特別賞（1 作品）。全応募作品の中から NPO サポーター会員等の投票により選出されます。

■2月12日(日)・「TVF2017 フォーラム」第2日目

(会場：武蔵大学 江古田キャンパス 8号館・8702教室)

9:15	◎開場 (受付開始)
9:45	◎開会 (開会宣言)
10:00~12:00	◎セッション3(ディスカッション): テーマ「闘う映像 現在、現代を考える」 ①「TVF アワード」入賞作品 (9作品: 詳細4頁) のダイジェスト上映 ②映像作家 (入賞者)・コメンテーター・ナビゲーターによる討論 ③「TVF アワード」入賞作品 (同) の表彰
12:00~13:00	休憩 (昼食)
13:00~14:30	◎セッション4 (特別顕彰): 「映像で伝える、考える、つながる」 ☆TVF 文化功労賞顕彰 (3件) ①市民映像の保存に貢献するテレシネ活動 市川映像協会と尾崎義夫氏 ②川崎市民ミュージアム・フィルムライブラリーアーカイブ活動 濱崎好治氏 (川崎市市民ミュージアム 学芸員 主査) ③ビデオによる市街定点観測活動 26年 市民映像番組の制作 豊田ビデオリポータークラブ (代表: 稲垣敬一氏)
14:30~16:00	◎セッション5 (特別企画): 「文系大学の映像制作取り組み(仮)」 ①プレゼンテーション 武蔵大学・松本恭幸 教授 ②TVF に応募のある文系大学による特別討論
16:00	◎閉会 (閉会宣言)

<フォーラムの各セッションの題材作品 紹介>

注)・題材作品は全て「TVF2017 アワード」入賞作品。

- ・作者名敬称略。団体入賞のうち年齢表記のあるものは、代表者の年齢。
- ・セッションごとに、北から都道府県順・作品名の50音順で記載。

◎ セッション1: 「人を見つめる」(11作品)

作品名	作者名	年齢	都道府県
カメラを持って飛び出そう	こころカ・プロダクション		北海道
先生、カッコいいじゃん!	石川 勝	62	栃木県
STILL LIFE	土屋 貴聖	23	東京都
ラグ車 前へ ~車いすで挑む自立支援の道~	蒲 宏樹	69	東京都
愛するということ	齋藤 佳憲 神奈川県立弥栄高等学校	17	神奈川県
青根っこ	白井 由貴子	68	神奈川県
帰路	森田 夢理歌	18	神奈川県
ここにいる	高山 直美	44	神奈川県
種をまく人 ~新しい農業への挑戦~	金子 喜代子	77	神奈川県
ふたりの登り窯	大野 進二	75	山口県
もう一つの北高祭	中野 志保・神代 海央 佐賀県立佐賀北高等学校	18	佐賀県

◎セッション2： 「地域・歴史・文化・自然を伝える」(20作品)

作品名	作者名	年齢	都道府県
生き直す馬たち ～モモセファームの一年間～	北星学園大学放送研究会 ジャーナリズムチーム		北海道
留萌沖の戦慄 in 1945	有沢 準一	79	北海道
烈夏七夕まつり ―100年続く市民のまつりをめざして―	北海道旭川工業高等学校 KBS 旭工放送局		北海道
消えゆく 村の記憶	内田 一夫	80	埼玉県
バッジが伝えるもの	埼玉県立川越高等学校放送部		埼玉県
僕らの出番がきつとくる	永井 美千代	69	千葉県
美しき過疎	梨元 萌衣 法政大学水島ゼミ	20	東京都
キミの隣のボクへ -Focus on Myself-	Focus on Myself (小林 令奈 慶応義塾大学)	20	東京都
軍属だったひいおじいちゃん	松本日菜子・和田 楓・瀧上志帆 上智大学水島ゼミ	21/20/22	東京都
ケガと弁当自分持ち! ～生き物をつなぐ コミュニティガーデン～	林原 あずさ 法政大学水島ゼミ	21	東京都
たま ～現存する最古の電気自動車～	神野 菜々 中央大学 FLP 松野良一ゼミ	21	東京都
日本軍最後の「兵器」	鈴木 賢士	84	東京都
重荷を負うて	大隅 楠夫	73	神奈川県
島民の本音	仲澤 大夢 法政大学水島ゼミ	22	神奈川県
新発田川の上で ～公設鮮魚市場の人々～	敬和学園大学一戸ゼミ		新潟県
粘菌の森	大内 清樹 成安造形大学	35	滋賀県
The Stream VI	櫻井 宏哉	58	京都府
ひまわり	堀 皓二		大阪府
集団自決～鯨の戦士の悲話	松田 治三	80	広島県
忘れられた魂 ～宮島の原爆死者たち	広島経済大学徳永ゼミナール		広島県

◎セッション3： 「闘う映像 現在、現代を考える」(9作品)

作品名	作者名	年齢	都道府県
いっぱい食べんさい ～広島のマザーテレサと子どもたち～	松本日菜子・高橋 惟・相田真弘 上智大学水島ゼミ	21/21/20	東京都
がんと闘う ～1年の記録～	春見 書紀	79	東京都
ターゲットクリア?	江戸川女子中学校放送部		東京都
8年前を歩く	春名 美咲 法政大学水島ゼミ	21	東京都
福島県教職員組合 双葉支部の心	湯本 雅典	61	東京都
私は負けない	手塚 三郎	80	東京都
静かな熱いメッセージ	御法川 直樹	57	神奈川県
STOP!! ながらスマホ	神奈川県立相模田名高等学校 交通安全隊		神奈川県
Nikkei Burajirujin	藤井 アマンダ 奈瑠美 成安造形大学	20	滋賀県

■新企画「TVF2017 前夜祭 in 江古田」を開催！

2 日間の「TVF2017 フォーラム」を盛り上げる新たな企画として、開催前夜に TVF 応募者や関係者によるライブ&懇親会「TVF2017 前夜祭 in 江古田」を開催します。

【「TVF2017 前夜祭 in 江古田」の概要】

- ・日時：2 月 10 日（金）18：30～
- ・場所：「江古田 Buddy」（西武池袋線江古田駅南口徒歩 30 秒）
※詳細は下記、公式ホームページ（NPO ホームページ）をご覧ください。
- ・参加費：有料（ワンドリンク 1,000 円・高校生以下は無料）
- ・定員：90 名（先着順）

■入賞作品を公開中（Web 配信）

- ・公式ホームページにて入賞 40 作品を公開中（Web 配信）※²

※²：応募者の都合により、映像公開していない作品もあります。ご了承ください。

- ・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL

URL <http://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50 音順・敬称略）

大林 宣彦（映画作家）
小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学客員教授）
佐藤 博昭（ビデオ作家・日本工学院専門学校講師）
高畑 勲（アニメーション映画監督）
村山匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）
羽仁 進（映画監督）

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」（TVF/日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕）の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です（設立：2009 年 11 月）。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以來通算 39 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 8 回目を迎えます。